

UwView v1.9.0（Full Spectrum）操作説明

UwView は、grep と vi を合わせたように使えるアプリです。CLI（uvf コマンド）でファイルから文字列を検索し、GUI で数 GB～数十 GB の巨大なファイルを瞬時に開いて、見ながら検索できます。CLI と GUI を1つにまとめ、v1.8 からは GUI の中でも CLI と同じ書き方で検索できます（8章）。

v1.9.0（Full Spectrum）では、Word・Excel・PDF を開いて探すこと（13章）、ファイルの操作（パスのコピー・フォルダーを開く・ターミナル・アプリで開く。1章）、ファイル指定の波かっこ {a,b}（8章）、開いているファイルが外で切り詰められたり消されたりしたときの知らせと末尾追従（11章）、結果一覧へのブックマークの表示（6章）、定義済み★の AND・NOT・OR のひな形（5章）、設定の画面（キーの割り当て・フォント・ダークテーマ。17章）が加わりました。

この説明書は GUI の操作をまとめたものです。uvf コマンドの使い方と最新情報は、blog サイト（<https://uvp.y42u.net/>）を見てください。

- uvf コマンド操作マニュアル：<https://uvp.y42u.net/uvf-manuaru/>

使えるファイル

種類	拡張子
ふつうのテキスト	.txt .log .csv .tsv .json .jsonl .xml .osm .geojson .kml .nmea .md .ini .conf、ソースコード（.c .h .py .cs など）
圧縮ファイル	.gz .bz2 .xz .lzma .zst
特殊（検索はできる・元の形式には書き出せない）	.docx（.docm） .xlsx（.xlsm） .pdf
使えないもの	.zip .tar .tar.gz .doc .xls、パスワード付きの文書、文字の無い PDF（画像だけ）、OSM の .pbf

- **ふつうのテキスト**：開く・見る・検索・コピー・保存。**テキストなら拡張子は問いません**。文字コードは UTF-8（BOM あり・なし）・Shift-JIS・EUC-JP・UTF-16、改行は LF・CRLF（14章）。
- **圧縮ファイル**：画面では、テキストに展開してから開きます（13章）。コマンドの uvf は、.lz4 .br も加えた 7 形式を展開せずにそのまま検索します。
- **特殊**：文字を取り出して、見る・検索します。元の形式には書き出せません（取り出した文字の保存・コピーはできます。13章）。
- **使えないもの**：理由を知らせて開きません。zip・tar は展開してから開いてください（zip と pbf は UwView Pro で探せます）。

目次

1. 画面の構成
2. ファイルを開く
3. 大きなファイルの扱い（ページモードと行モード）

- 移動する（スクロール・ジャンプ・ミニマップ）
- 検索する
- 結果一覧（フィルタ結果）
- 複数ファイルの結果（uvf-open から）
- コマンドライン（uvf と同じ書き方で、画面から探す）
- ファイル一覧とタブ
- 色分けハイライタ
- ブックマーク・末尾追従・お気に入り・外でファイルが変わったとき
- 選択・コピー・保存
- 圧縮ファイル・Word・Excel・PDF
- 文字コード・言語
- uvf をコンソールで使えるようにする（コマンドライン設定）
- キー操作・マウス操作の一覧
- 設定の画面（全般・キー・表示）と設定の保存
- 制限と注意
- ブラウザ版の違い

1. 画面の構成



右端の縦の帯はミニマップ（橙＝検索のヒット、青＝ブックマーク、灰色＝今見ている位置）。ボタンはアイコンで、名前はマウスを乗せると出ます（図では下に名前を書いています）。

場所	内容
メニュー	ファイル ：開く…／コマンドライン…（8章）／閉じる（今のタブ）／すべて閉じる／ブックマークを書き出す…（11章）。 ツール ：設定…（17章。Macはアプリ名メニューの「設定…」）。 ヘルプ ：使い方・最新情報・お問い合わせ（Web）、GitHub、コマンドライン設定…、バージョン情報（Macはアプリ名メニューの「UwViewについて」）
窓の題名	UwView(uvf)-Full Spectrum(v1.9.0) の形で、呼び名（Full Spectrum）と版数が出ます。「UwViewについて」と uvf --version は正式名だけです

場所	内容
タブ	1タブ=1ファイル。ファイル名・索引作成の % ・×。多いときは1行のまま横にスクロール（ホイールで送れる）
ツールバー	ボタンはアイコンだけです。 名前はマウスを乗せると出ます （1.7.3 から、ほかの窓のボタンも同じ。はい／いいえ・開く／閉じる・保存・中止などは文字のまま）。言語の左にあるターミナルの形のボタンが「コマンドライン」です（8章）
ステータス	ファイル名（押すと、フルパスと［コピー］［フォルダー］［ターミナル］［アプリ］の窓が出る。1.9.0 から。下の「ファイルの操作」）／「行モード」か「ページモード」／位置（総行数・先頭の行、ページモードは % ）／文字コード／一時的な知らせ（4秒）。右に索引作成の進み具合と「キャンセル」、右端に直前の処理時間（マウスを乗せると直近10件）
帯	開いているファイルがほかのプログラムに切り詰められた・消されたときなどに、本文の上に出る黄色い知らせ（11章。1.9.0 から）
ミニマップ	ファイル全体の縮図。 橙=検索のヒット、青=ブックマーク、灰色の帯=今見ている位置
スタート画面	ファイルを開いていないとき。「ファイルを開く…」、最近使ったファイル、お気に入り（ダブルクリックで開く）

ファイルの操作（1.9.0 から）

ステータスバーのファイル名を押す（左でも右でも）か、ファイル一覧の行を右クリックすると、小さな窓が出ます。

部品	動き
フルパス	ファイルの場所。選んでコピーもできる
［コピー］	フルパスをクリップボードに写す
［フォルダー］	ファイルのあるフォルダーを Finder ・ エクスプローラーなどで開く（ファイルを選んだ状態で）
［ターミナル］	ファイルのあるフォルダーに移ったターミナルを開く（mac は「ターミナル」、Windows は Windows ターミナル〈無ければコマンドプロンプト〉）
［アプリ］	拡張子に合ったアプリで開く（.pdf なら PDF のアプリ、.docx なら Word など）。取り出した索引（report.pdf.uwvz）なら、隣の元のファイル（report.pdf）を開く

- 結果は窓のいちばん下に出ます。
- ［アプリ］ が押せないもの：元のファイルが隣に無い索引（束ねた索引など）、見つからないファイル、zip の中のファイル（マウスを乗せると理由が出ます）。

2. ファイルを開く

方法	内容
メニュー「ファイル→開く…」／ツールバーの開く	ファイルを選ぶ（複数選べる。どの種類でも選べる）
ドラッグ&ドロップ	画面のどこに落としても開く（複数可）
スタート画面	最近使ったファイル（最大15件）・お気に入りをダブルクリック

方法	内容
OS から	Finder の「このアプリケーションで開く」、アイコンへのドロップ、起動中なら新しいタブで開く
コマンドから	<code>uvf -open app.log ERROR</code> （開いて検索まで）。7章
画面の「コマンドライン」から	uvf と同じ書き方で、ファイルを指定して探す（複数ファイルもまとめて）。8章
Word・Excel・PDF	文字を取り出して開く（1.9.0 から。13章の「Word・Excel・PDF」）

前回の続き：起動したときに「前回のファイル（N 件）を復元しますか？」と聞きます。「復元する」で前回の位置まで戻ります（索引を待たずに近くが出来ます）。「復元しない」でも記録は残り、次回また聞きます。

3. 大きなファイルの扱い（ページモードと行モード）

UwView は、開いた瞬間から読めるように、2段階で動きます。

モード	いつ	できること
ページモード	開いた直後（行の索引を作っている間）	全体をスクロール・末尾へ・%でジャンプ。行番号はまだ出ない
行モード	索引ができたあと	行番号・行でジャンプ・行の選択・ハイライタのクイック着色

- 索引の進み具合はタブの % とステータスに出ます。「キャンセル」で止めても、ページモードのまま読めます。
- 索引ができる前に検索すると、検索と索引作成を1回の読み込みで同時に行います（無駄に2回読まない）。
- 1行の表示は先頭 8,192 文字までです（それ以降は「…（省略）」）。

4. 移動する（スクロール・ジャンプ・ミニマップ）

操作	動き
↑ ↓ ／ ホイール	1行ずつ／3行ずつ
PageUp ／ PageDown	1画面ずつ
Ctrl（Mac は Cmd）＋Home ／ End	先頭／末尾
← → ／ Shift＋ホイール ／ 横スワイプ	横にスクロール。Home で左端へ
ミニマップをクリック・ドラッグ	その割合の位置へ
ジャンプ欄 に入れて Enter（または移動ボタン）	<code>50%</code> → 半分の位置／ <code>12345</code> → 12345 行目（行モード）。ページモードで数字だけのときはバイト位置

- ジャンプ欄は **Enter でも移動ボタンでも**実行できます。Ctrl（Cmd）＋L でジャンプ欄へ移れます。
- 移動した行は画面の中央に来て、水色で強調されます。

5. 検索する

1. 検索欄に語を入れて **Enter**（または ）。Ctrl（Cmd）+F で検索欄へ移れます。
2. 進み具合の窓が出ます（割合・件数・「中止」）。終わったら「閉じる」。ヒットがあれば**結果一覧が自動で開きます**（6章）。
3. 当たった語は**黄色**で強調され、ミニマップに橙の線が出ます。

部品	意味
正規表現	検索語を正規表現として扱う。 外すと速い文字列検索 （既定は外れています）
大小無視	英字の大文字・小文字を区別しない
◀ 前へ / 次へ ▶	前後のヒットへ移る（今画面で強調している行、なければ画面の先頭から）。キーは Shift+F3 / F3（Mac は Cmd+Shift+G / Cmd+G も）
件数	「N 件」→ 移ったあとは「3/8,739 件」。上限で止めたときは「(上限で打ち切り)」
クリア	検索を消す（検索語を空にして Enter でも同じ）
検索履歴	検索欄に最近の50件が候補として出る
定義済み ★	今の検索（語・正規表現・大小無視）を★で保存し、一覧から選ぶとすぐ検索する。行の右の「×」で消せる（1.9.0 から）

AND・NOT・OR のひな形（1.9.0 から）

定義済み★の一覧の先頭に、1つの正規表現で AND・NOT・OR を書くひな形が3つ入っています（初めて起動したときに入ります。消したものは戻りません）。

ひな形	入る式	当たる行
AND（両方を含む）	<code>^(?=.*語1)(?=.*語2)</code>	語1 と 語2 の両方を含む行（順は問わない）
NOT（含まない）	<code>^(?!.*除く語).*語</code>	語 を含み、除く語 を含まない行
OR（どちらか）	<code>語1 語2</code>	どちらかを含む行

1. ひな形を選ぶと、式が検索欄に入り、**正規表現がオン**になります。ほかの定義済みと違い、選んだだけでは探しません。
2. 最初の語（語1・除く語）が選ばれた状態なので、そのまま打つと置き換わります。
3. 残りの語も書き換えて、Enter で探します。

- 語は正規表現の中に入るので、`.`（`[`などの記号は `\` のように `\` を付けます。
- 英語の画面では `word1`・`excluded` などが入ります。
- 探すのは**今のタブの1ファイル**です。
- 正規表現は .NET の正規表現です（書き方は blog サイトの「uvf コマンド操作マニュアル」）。書き間違いは「正規表現が正しくありません」と出ます。
- 件数の上限はありません（無制限）。

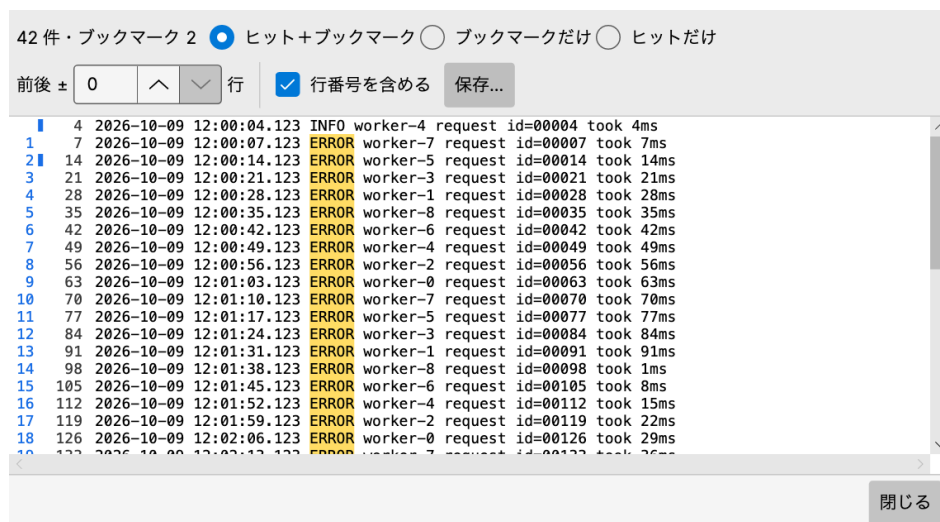
6. 結果一覧（フィルタ結果）

検索バーの「結果一覧」で、当たった行だけを別の窓に並べます。

部品	意味
件数	C/Total
【ヒット+ブックマーク】【ブックマークだけ】 【ヒットだけ】	一覧に出すものの切り替え（1.9.0 から。既定は【ヒット+ブックマーク】。選んだものは覚えます）
前後 ± N 行	当たった行の前後も出す（ 無料版は ±1 まで ）。前後の行は淡色、区切りに「…」
行番号を含める	保存するときに行番号を付ける（既定オン）
保存…	表示している内容をファイルに書く（名前-filter.txt、UTF-8）

- **ダブルクリック／Enter で、本体のその行へ移ります**（中央寄せ＋水色）。
- 選択：クリック、Ctrl（Cmd）＋クリックで追加、Shift＋クリックで範囲、ドラッグ。Ctrl（Cmd）＋A で全部、Ctrl（Cmd）＋C でコピー。右クリックで「コピー」「ファイルに保存…」。
- 窓を閉じてても、±N や位置は覚えています。

ブックマークを一覧に出す（1.9.0 から）



- ヒットとブックマーク（11章）は、**ファイルの行の順に混ぜて**並びます。ブックマークの行は、行番号の左に**青い棒**が付きます。
- ヒットとブックマークの両方に当たる行は、1行だけ出て、両方の印が付きます。【ヒットだけ】でも、ブックマークの行には青い棒が付きます。
- **検索していないときは【ブックマークだけ】と同じです**（ブックマークの一覧として使えます）。
- 前後 ± N を付けると、ブックマークの行にも同じ前後が付きます。
- 一覧でブックマークの行を選んで **Delete**（または Backspace）を押すと、そのブックマークを外します。本文とミニマップの印も外れます。
- 【保存…】は、今の切り替えで見えている行を書きます。
- vi・less 風のキー（17章）では、**v** で3つの切り替えを順に回せます。

7. 複数ファイルの結果（uvf-open から）

コマンドで複数のファイルを探し、結果を画面で見ることができます。

```
uvf -open '*.log' ERROR
uvf 'logs/**/*.log' timeout -i -open
```

開いた直後

- **ファイル番号 1** がメインのタブに出ます。
- 結果の窓が開きます（検索語が無ければファイル一覧が開きます）。
- 画面は探し直しません（コマンドの結果をそのまま使います）。

結果の窓

```
1:128      2026-09-27 10:01:02 ERROR connection reset
1:512      2026-09-27 10:05:44 ERROR timeout
3:7        2026-09-27 11:00:00 ERROR disk full
```

- 行番号欄は **ファイル番号:行番号**。番号と実際のファイル名は**ファイル一覧**（9章）で分かります。行を選ぶと、窓の下に「番号: 実際のパス」が出ます。
- 題名に「指定・検索語・N ファイル・M 件」。

ダブルクリック（または Enter）で、元のファイルのその行を見る

状況	動き
そのファイルがメインに出ている	その行へ移るだけ
そのファイルが追加のタブで開いている	そのタブに切り替えて移る
どこにも開いていない	メインの中身をそのファイルに差し替えて移る

- 大きなファイルは開くのに時間がかかります。ステータスに「開いています… 3:128394」と出ます。待っている間に別の行をダブルクリックすると、**後のほうが優先**です。
- 開いたファイルでは、そのファイルのヒットが黄色になり、◀▶ で移れます（メイン画面の C/Total はそのファイルの中、結果の窓の C/Total は全体の中の位置）。
- **圧縮ファイル**は、確認を出さずに隣に展開して開きます（展開済みで新しければそれを使います）。
- 検索した後にファイルが変わっていたら「行がずれている可能性があります」と出ます。消えていたら「ファイルが見つかりません」。

制限（UwView Pro との違い）

項目	UwView	UwView Pro
結果から元の行へ	ファイルを開き直す（大きいと待つ）	束ねた索引の中をすぐ移る
画面の検索欄	メインの1ファイルだけ を探す。全体を探し直すのは画面の「コマンドライン」（8章）かコマンドから	束ねた全体を探す
渡せる件数	最大 100 万件（各行は先頭 1,000 文字）	—

項目	UwView	UwView Pro
前後 ± N	出ない（1本のファイルを画面で検索したときは ±1 まで）	±64 まで

8. コマンドライン（uvf と同じ書き方で、画面から探す）

1.8 から、画面の中で **uvf** のコマンドと同じ書き方で探せます。ターミナルを開かずに、複数のファイルや圧縮ファイルをまとめて探し、結果を本体の窓で読めます。

開き方

どれでも同じダイアログが開きます。

- ツールバーの「コマンドライン」ボタン（ターミナルの形。言語の左）
- メニュー「ファイル → コマンドライン…」
- Ctrl+Shift+K（Mac は Cmd+Shift+K）



- ダイアログは窓ごとに1つです。開いたままで本体を操作できます。もう一度開くと前に出ます。
- 「閉じる」で閉じて、入れた値は残ります。

ダイアログの部品

基準フォルダー

/Volumes/BIWIN/26work/UwTest/osm17

選ぶ...

ファイル指定パターン

japan-dv-10m.osm

▼

検索パターン

東京

▼

☒ .ignore・.gitignore に従う

uvf japan-dv-10m.osm 東京

コピー

ファイル (0)

出力

コピー

保存...

終わりました (終了コード 0) ・ 所要 0.23 秒 ・ 結果は本体の窓に出しました ・ 窓に出すまで 0.01 秒

ファイル展開

検索実行

閉じる

部品	意味
基準フォルダー・[選ぶ…]	コマンドを打つフォルダーにあたる所。ファイル指定パターンの相対パスは、ここから解きます
ファイル指定パターン ▼	コマンドの1つ目（ファイルの部分）と同じ書き方。app.log・*.log・*.osm,*.gz（カンマで並べる）・logs/**（下のフォルダー全部）・*.{txt,log}（波かっこ.txt か log）・絶対パス。 引用符は要りません （あっても同じ）
検索パターン ▼	コマンドの2つ目から後ろ（検索語とオプション）と同じ書き方。ERROR - i・'K="NAME[^"]*" -E -i。引用符と \ はシェルと同じに読みます。Enter で実行

部品	意味
☒ .ignore ・ .gitignore に従う	オンは ripgrep と同じ除外の規則。オフはコマンドの <code>--no-ignore</code> と同じ
コマンドの行・[コピー]	2つの欄から組み立てた <code>uvf ...</code> の行。入れるたびに書き換わります。基準フォルダーでターミナルに貼れば、同じ結果になります。Windows には [コピー (PowerShell)] もあります (引用の規則が違うため)
誤りの表示 (赤字)	書き方の誤りを、コマンドと同じ言葉で出します。誤りがある間は [検索実行] を押せません
タブ「ファイル (N)」	[ファイル展開] の一覧 (番号・ファイル・大きさ)。行をダブルクリックすると本体で開きます
タブ「出力」	文字で答えるもの (<code>--help</code> ・ <code>--version</code> ・ <code>--files</code> など) と、コマンドが出す知らせ (色を変えて上に出る)。[コピー] [保存…]
下の行	実行中の進み具合、終わったときの結果 (終了コード・所要時間)
[ファイル展開] / [検索実行] / [閉じる]	一覧を作る / 探す / 閉じる。実行中は [中止] で止められます

コマンドとの対応は次のとおりです。

コマンド	ファイル指定パターン	検索パターン
<code>uvf app.log ERROR</code>	<code>app.log</code>	<code>ERROR</code>
<code>uvf japan.osm 'K="NAME[^"]*"' -E -i</code>	<code>japan.osm</code>	<code>'K="NAME[^"]*"' -E -i</code>
<code>uvf '*.osm,*.gz' 東京</code>	<code>*.osm,*.gz</code>	<code>東京</code>
<code>uvf 'linux/**' spinlock -i</code>	<code>linux/**</code>	<code>spinlock -i</code>

探す ([検索実行])

- 基準フォルダーでコマンドを打ったのと同じことを、画面の中で行います。結果は本体の窓に出ます (コマンドの `-open` と同じ。ダイアログの「出力」には出ません)。
 - 1本のファイル：そのファイルをタブで開き (開いていればそのタブで)、結果一覧に出します (6章)。
 - 複数のファイル：複数ファイルの結果として出します (7章)。続けて実行すると、前の結果のタブ・窓・ファイル一覧を片付けてから出し直します。
- 実行中は、何本目 / 全体・読んだ量・残りの目安・経過を出します。[中止] で止めると「中止しました」と出ます。
- 終わると下の行に「終わりました (終了コード 0) ・所要 N 秒・結果は本体の窓に出しました・窓に出すまで N 秒」のように出ます。終了コードはコマンドと同じです (0=あった・1=無かった・2=誤り)。
- 結果を文字で欲しいときは、[保存…] で書き出します (中身はコマンドの出力と同じです)。
- 検索パターンに `-open` を書いても無視します (「`-open` は画面の中では要りません」と出ます)。
- 検索語を書かずに実行すると、ファイルの一覧だけを出します (コマンドの `--files` と同じ)。

探す前に確かめる（[ファイル展開]）

基準フォルダー /Volumes/BIWIN/26work/UwTest/osm17 選ぶ...

ファイル指定パターン *.osm,*.gz ▼

検索パターン 東京 ▼

☒ .ignore・.gitignore に従う

uvf '*.osm,*.gz' 東京 コピー

ファイル (12) 出力

番号	ファイル	大きさ
1	japan-dv-10m.osm	979.2 MB
2	japan-dv-1m.osm	97.5 MB
3	japan-dv-3g.osm	2.87 GB
4	japan-dv-3m.osm	291.0 MB
5	japan-dv-6m.osm	583.5 MB
6	japan-dv-10m.osm.gz	106.1 MB
7	japan-dv-1m.osm.gz	10.5 MB
8	japan-dv-3g.osm.gz	318.3 MB
9	japan-dv-3m.osm.gz	31.7 MB
10	japan-dv-ac.gz	1.04 GB
11	japan-dv-ai.gz	287.0 MB

12 本・11.91 GB

展開しました (所要 0.02 秒) ファイル展開 検索実行 閉じる

- ファイル指定パターンを広げて、対象のファイルを一覧にします（--files と同じ広げ方）。
- 下に、本数・大きさの合計、.gitignore など除外した本数を出します。1,000 本を超えると「1,000 本を超えています（続けます）」と出ます。読めないファイルには△が付きます。

Pro の機能を書いたとき

基準フォルダー /Volumes/BIWIN/26work/UwTest/osm17 選ぶ...

ファイル指定パターン japan-dv-10m.osm ▼

検索パターン 'k="amenity"' -uniq 'v="([^\"]+)"' ▼

☒ .ignore・.gitignore に従う

uvf japan-dv-10m.osm 'k="amenity"' -uniq 'v="([^\"]+)"' コピー

-uniq は UwView Pro の機能です

ファイル (0) 出力

番号	ファイル	大きさ
----	------	-----

ファイル展開 検索実行 閉じる

- -uniq ・ -seq ・ -grep などの UwView Pro の書き方は、「-uniq は UwView Pro の機能です」と出して実行しません。
- zip ・ tar.gz ・ OSM の pbf は無料版では探せません（展開してから探してください）。

基準フォルダーと履歴

- 基準フォルダーは、次の順に最初から入っています。

1. ターミナルで `uvf ... -open` として画面を開いたときは、打ったフォルダー（その起動で最初の1回だけ）
 2. 前に使った基準フォルダー
 3. 今のタブのファイルのフォルダー
 4. ホーム
- 実行した値（基準フォルダー・2つの欄・除外のチェック）は 50 組まで残ります。2つの欄の ▼ から選ぶと、1組まとめて戻ります。開いたときは前回の値が入っています。

9. ファイル一覧とタブ

複数ファイルの結果を開いているとき、検索バーと結果の窓に**ファイル一覧**のボタン（箇条書きのアイコン）が出ます。

ファイル一覧

開く先: ● メイン ○ タブ ○ アプリ

番号	ファイル	ヒット	大きさ
1	logs/app-0901.log	42	1.2 GB メイン
2	logs/app-0902.log	0	1.1 GB
3	logs/app-0903.log.gz	86	0.2 GB タブ

タブ 2 / 8 閉じる

1:app-0901.log

3:app-0903.log.gz ×

メインのタブは灰色で閉じられない。追加のタブは 番号:ファイル名

- 行を**ダブルクリック**／**Enter**で開きます。行を**右クリック**すると、ファイルの操作の窓が出ます（1章）。
- **開く先**（右上。[メイン] [タブ] [アプリ]。選んだものは覚えます。1.9.0 から [アプリ] が加わりました）
 - **メイン（既定）**：メインの中身をそのファイルに差し替え、先頭を出す
 - **タブ**：追加のタブで開く。タブ名は 3:ファイル名
 - **アプリ**：元のファイルを、**拡張子に合ったアプリ**で開く（.pdf なら PDF のアプリ、.docx なら Word など。どのアプリかは OS の設定で決まります）。UwView のタブは増えません。元のファイルが見つからないときは、一覧の下に知らせます
- **タブは最大 8 個（メイン 1 + 追加 7）**。8 個あるときは開かずに「タブは 8 個までです（メイン+7）。どれかを閉じてから開いてください」。古いタブを勝手に閉じることはありません。この上限は、この一覧から開くタブだけに数えます（「ファイル → 開く」のタブは数えません）。
- 既にかいているファイルは、そのタブに切り替えるだけです（同じファイルを2つ開かない）。
- **メインのタブは閉じられません**（×が出ません）。結果の窓とファイル一覧のもとになっているためです。
- **メインのタブは灰色**です。追加のタブと見分けられます。
- タブ名が 27 文字を越えると、末尾を ... にして 27 文字に縮めます。タブにマウスを重ねると、切らないファイル名（2 行目は場所）が出ます。
- 検索結果のダブルクリックは、開く先に関係なく**メイン**で開きます（7章）。

10. 色分けハイライタ

検索とは別に、決めた語や式を常に色分けして表示します（ERROR は赤、WARN は黄、など）。

管理画面（ツールバーのハイライタ）

部品	意味
規則を追加（+）／プリセット	規則を足す。プリセットは7種：汎用ログレベル、syslog / Linux、Web access (HTTP)、JSON ログ、GeoJSON、KML、GNSS NMEA
規則の列	▲▼（優先順。上ほど優先）、有効、×、色見本、パターン、正規表現、Aa（大小無視）、行全体（行全体を塗る）、文字色・背景色
読込（再読み込み）・エクスポート…（上矢印）・インポート…（下矢印）	規則のセットを切り替える／ファイル（.uwvhl）に書く・読む
保存	名前を付けて保存して閉じる
設定（チェック）	今の名前で確定して閉じる
閉じる	変更を捨てて閉じる

- （ ）の中はボタンのアイコンです。名前はマウスを乗せると出ます。
- 色は8～12色までにするのがおすすめです（多いと見分けにくい）。
- セットはタブごとに選べます。
- 検索の黄色は、ハイライタの色より優先されます。

ダークのとき（1.9.0 から。17章）

- プリセットの淡い色（赤・橙・緑・青・灰・紫・水色）は、暗い背景で読める色に替えて描きます。規則に入っている色の値は変わりません（ライトに戻すと元の色です）。
- 自分で決めた色は変えません。明るい背景色だけを決めた規則は、ダークでも文字を黒で描きます。
- 文字と背景の明るさの差が小さく、暗い背景で読みにくい規則には、規則の一覧に△が付きます（マウスを乗せると理由が出ます）。文字色が背景色を変えると消えます。

クイック着色（行モードのとき）

- 本文の語をダブルクリックすると語を選びます（もう一度で記号まで広げ、3回目で解除）。
- 右クリックで小さな窓：コピー（アイコン）、10色の見本、色を消す（アイコン）、管理…（パレットのアイコン）。色を選ぶとその語が着色されます。

11. ブックマーク・末尾追従・お気に入り・外でファイルが変わったとき

機能	使い方
ブックマーク	画面の先頭の行に付ける／外す。行番号欄の左端とミニマップに青い印。◀▶ ボタン（[]）で前後のブックマークへ。Ctrl（Cmd）+B で付ける・外す。ファイルごとに覚えて、同じファイルを開くと戻ります
まとめて付ける（1.9.0 から）	本文で行の範囲を選んで（12章）Ctrl（Cmd）+B を押すと、選んだ行すべてに付けます。全部に付いていれば全部外します。一度に 10 万行まで

機能	使い方
結果一覧に出す (1.9.0 から)	結果一覧にヒットと混ぜて出し、一覧の Delete で外せます (6章)
末尾追従	オン・オフは Ctrl (Cmd) + Shift + F でも。オンにすると末尾へ移り、1秒ごとに追記を見て、増えたら末尾へ送る (tail -F と同じ)。1.9.0 から、切り詰め・作り直し・ローテーション・削除にもついていきます (下の「外でファイルが変わったとき」)
お気に入り	ハートのアイコンで今のファイルを登録／解除。スタート画面に出る

ブックマークを残す

- ファイルごとに自動で覚え、同じファイルを開くと戻ります (前回の復元をしなくても戻ります)。
- 追記されただけのファイルなら戻ります。中身が変わっていたら (先頭が変わった・作り直された等) 戻さず、「○○は前回から変わっているの、ブックマークを戻しませんでした」と出ます。
- ブックマークを全部外すと、そのファイルの記録も消えます。覚えるのは最近の 500 ファイルまでです。
- ファイルメニュー「**ブックマークを書き出す…**」: 名前-bookmarks.txt に「行番号本文」で書き出します。行番号を数え終わってから使えます (途中なら案内が出ます)。

外でファイルが変わったとき (1.9.0 から)

開いているファイルを、ほかのプログラムが切り詰めたり、作り直したり、消したりしても落ちません。タブごとに1秒ごとに見張って、次のように知らせます。

起きたこと	例	末尾追従がオフのときの帯
切り詰め	<code>: > app.log • truncate</code>	「app.log が切り詰められました」
作り直し (先頭や中身が変わった)	別の内容で上書き	「app.log が作り直されました」
ローテーション	<code>mv app.log app.log.1</code> のあと新しい <code>app.log</code> ができた	「app.log は、同じ名前の別のファイルに置き換わりました (ローテーション)」
削除	<code>rm app.log</code>	「app.log が消されました」

末尾追従がオフのとき

The screenshot shows the app.log viewer interface. At the top, there's a tab labeled 'app.log'. Below it, a toolbar contains various icons for file operations and a search bar. A message bar at the top of the log content area displays 'app.log が切り詰められました' (app.log was truncated) with a '読み直す' (Reload) button. The log content area shows a list of log entries, including an error entry: '2026-10-09 12:00:07.123 ERROR worker-7 request id=00007 took 7ms'.

- 本文の上に黄色い帯が出ます。帯の「読み直す」(F5 と同じ) で今の中身を開き直し、[×] で帯を閉じます。
- 読み直すまでは前の内容が見えます。無くなった所は空で出ます。
- 消されたときは「読み直す」が出ません。同じ名前のファイルができると、帯が「置き換わりました」に変わり、「読み直す」が出ます。

末尾追従がオンのとき（tail -F と同じく、自分でついていきます）

起きたこと	動き
切り詰め・作り直し	自分で読み直して末尾へ移り、追従を続けます。帯に「app.log が切り詰められたので読み直しました」（作り直しも同じ形）が4秒出ます
ローテーション	同じ名前の新しいファイルを開き直して追従を続けます。帯に「新しい app.log を開き直して追従しています」が4秒出ます
削除	「app.log が消されました。同じ名前のファイルができたらかき直して追従します」と出して待ち、できたらかき直します

- 検索していたときは、読み直すと結果一覧が空になり、「ファイルが読み直されたので、検索し直してください」と出ます。
- 読み直したときのブックマークは、F5 と同じ決まりで戻します（中身が変わっていれば戻しません）。
- 裏のタブは、表に出したときに知らせる（読み直す）ようにします。
- 複数ファイルの結果のタブ（7章）は、F5 と同じく読み直しません（帯だけ出ます）。
- Word・Excel・PDF のタブは、取り出した文字ではなく元のファイルを見張ります（13章）。

12. 選択・コピー・保存

本文（行モードのとき）

- 左ドラッグで**行の範囲**を選ぶ（端に行くと自動でスクロール）。クリックか Esc で解除。
- Ctrl（Cmd）+C でコピー。右クリックで「コピー」「ファイルに保存…」。
- 10 万行を超えるコピー**は、自動でファイル保存に切り替わります。
- ステータスに「選択 n 行」と出ます。

結果一覧：6章。

13. 圧縮ファイル・Word・Excel・PDF

Word・Excel・PDF（1.9.0 から）

.docx（.docm）・xlsx（.xlsm）・pdf を開くと、**文字を取り出して開きます**（「文字を取り出して開きます」と進み具合が出ます）。

形式	1 行の中身
Word	段落を 1 行ずつ。表は 1 行を、セルをタブでつないで 1 行。本文のあとに [脚注] … ・ [コメント] … 。ヘッダー・フッターは出さない
Excel	シート名!行番号<TAB>セル<TAB>…（画面に見えている値。日付は 2025/1/21、金額は 1,234,567円 のように）
PDF	## page N のあとに、そのページの文字を読む順に（2 段組は左の段から）

- 取り出した文字は一時フォルダーに置きます（元のファイルの隣には何も作りません）。元のファイルが変わっていなければ、次からはすぐ開きます。

- 開いている間に元のファイルが変わると、帯「元の ○○ が変わりました（[読み直す] で開き直します）」で知らせます。[読み直す] で取り出し直します（設定の「全般」でオフにできます。17章）。
- ステータスバーのファイル名と「ファイルの操作」（1章）は、元のファイルを指します（[アプリ] で Word・Excel・PDF そのものを開けます）。
- 元の形式には書き戻しません（読んで探すだけです）。
- 開けないもの：古い形式（.doc・.xls）・パスワード付き・文字の無い PDF（画像だけ。OCR はしません）・壊れたもの。理由を知らせます。
- コマンドの uvf も、同じ取り出し方で探します（uvf report.docx 語・uvf '*.docx,*.pdf' 語。Excel の元の値で探すなら --raw）。行番号は画面と同じです。

圧縮ファイル

gz・bz2・xz・lzma・zstd のファイルを開くと、開き方を聞きます。

選択肢	動き
テキストに展開して開く	同じフォルダーに展開してから開く（gunzip と同じ結果）
.uwvz に変換して開く（Pro）	UwView Pro の機能です（選ばません）
やめる	開かない

- 展開済みのファイルがあれば「それを開く／展開し直す」を聞きます。
- 空き容量が足りなさそうなら（圧縮の約4倍が目安）「続ける／やめる」を聞きます。
- 展開中は進み具合と「中止」が出ます。
- **zip は開けません**（展開してから開いてください）。tar・二重圧縮なども理由を示して断ります（ファイルが壊れているとは限らないので、消さないでください）。
- コマンドの uvf は、これらを**展開せずにそのまま検索**できます（blog サイトの「uvf コマンド操作マニュアル」）。

14. 文字コード・言語

- **文字コード**（ツールバー）：自動判定・UTF-8・UTF-8 (BOM)・Shift-JIS・EUC-JP・UTF-16LE・UTF-16BE。切り替えても索引は作り直しません。ステータスに「(自動: 判定した名前)」か「(手動)」が出ます。タブごとに覚えます。
- **言語**（ツールバー）：日本語／English。覚えます。最初は OS の言語に従います。

15. uvf をコンソールで使えるようにする（コマンドライン設定）

メニュー「ヘルプ→コマンドライン設定…」で、コンソールから uvf と打てるようにします。

OS	動き
Windows	ユーザーの PATH に追加（管理者権限は不要）
Mac・Linux	/usr/local/bin にリンクを作る（管理者のパスワードを聞かれることがあります）。Linux で権限が無ければ ~/.local/bin

登録済みなら「登録し直す／解除する」。ディスクイメージ（dmg）から直接起動しているときは、先にアプリケーションフォルダーへ入れるよう案内します。

16. キー操作・マウス操作の一覧

本文

操作	動き
↑ ↓ ／ PageUp PageDown	1行／1画面
← → ／ Home	横に1文字／左端へ
Ctrl（Cmd）＋Home ／ End	先頭／末尾
ホイール ／ Shift＋ホイール	3行ずつ／横スクロール
左ドラッグ	行の範囲を選ぶ
Ctrl（Cmd）＋C ／ Esc	コピー／選択の解除
ダブルクリック	語を選ぶ（クイック着色）
右クリック	着色の窓、または選択のメニュー

結果一覧・ファイル一覧

操作	動き
ダブルクリック ／ Enter	その行へ移る／そのファイルを開く
↑ ↓ PageUp PageDown（＋Shift）	移る（Shiftで選択を広げる）
Ctrl（Cmd）＋A ／ C	全部選ぶ／コピー

そのほか：検索欄の Enter で検索、ジャンプ欄の Enter で移動、ミニマップのクリック・ドラッグで移動、タブ列のホイールで横送り。

ショートカット（Mac は Ctrl を Cmd に読み替えます）

キー	動き
Ctrl＋F	検索欄へ移る（文字を全部選ぶ）
F3 ／ Shift＋F3	次のヒット／前のヒット（Mac は Cmd＋G ／ Cmd＋Shift＋G も）
Ctrl＋L	ジャンプ欄へ移る。 ジャンプ欄で Enter を押すと移る
Ctrl＋B ／ [・]	ブックマークを付ける・外す（行の範囲を選んでいれば全部。1.9.0 から）／前・次のブックマークへ
Ctrl＋Shift＋F	末尾追従のオン・オフ
Ctrl＋Shift＋K	「コマンドライン」ダイアログを開く（8章）
F5	ファイルを読み直す（同じ位置・同じタブの並びで開き直す。覚えているブックマークは戻る）
Esc	検索欄・ジャンプ欄から本文へ戻る

キー	動き
Ctrl+,	設定の画面を開く（17章。1.9.0 から）
Ctrl++ / Ctrl+- / Ctrl+0	文字を大きく／小さく／既定の大きさに戻す（本文と結果一覧。1.9.0 から）。Ctrl+ホイールでも
Delete（結果一覧で）	選んだ行のブックマークを外す（6章。1.9.0 から）

- 検索欄・ジャンプ欄に文字を打っている間は、[] は文字として入ります。
- 複数ファイルの結果のタブ（uvf -open）は F5 で読み直しません（「このタブは読み直せません」と出ます）。
- 1.9.0 から、**キーの割り当てを変えられます**。vi・less 風（j k g G n N など）のひな形もあります（17章）。上の表は「標準」の割り当てです。

17. 設定の画面（全般・キー・表示）と設定の保存

1.9.0 から、設定の画面があります。

OS	開き方
Windows・Linux	メニュー「ツール→設定…」(Ctrl+,)
Mac	アプリ名メニューの「設定…」(Cmd+,)

タブは「全般」「キー」「表示」の3つです。変えたものはすぐに効き、自動で覚えます。

全般（変換して開いたファイルの元を見張る）

全般 キー 表示

☒ 変換して開いたファイルの元を見張る

Word・Excel・PDF（文字を取り出して開いたもの）や、UTF-8 にそえて開いたファイル（UwView Pro）は、変換した中身を開いています。オンにすると、元のファイルが変わったときに帯で知らせ、**「読み直す」**で取り出し直して開き直します。

部品	意味
「変換して開いたファイルの元を見張る」	既定はオン。Word・Excel・PDF は文字を取り出して開いているので（13章）、元のファイルが変わったら帯「元の ○○ が変わりました（「読み直す」で開き直します）」で知らせます。「読み直す」で取り出し直して開き直します。オフにすると知らせません

キー（キーの割り当て）

全般 キー 表示

ひな形: 標準 vi-less 風

操作	今のキー	既定のキー	
検索欄へ	⌘F	⌘F	戻す 消す
次のヒット	F3 ⌘G	F3 ⌘G	戻す 消す
前のヒット	⇧F3 ⇧⌘G	⇧F3 ⇧⌘G	戻す 消す
ジャンプ欄へ	⌘L	⌘L	戻す 消す
ブックマークを付ける・外す（選ん...	⌘B	⌘B	戻す 消す
前のブックマーク	[	[	戻す 消す

一覧で操作を選ぶと、ここで新しいキーを受け付けます（1つの操作に2つまで）。

全部を既定に戻す 書き出す... 読み込む...

検索欄・ジャンプ欄など文字を入れる欄にいる間は、文字1つのキー（j・k・[など）は文字として入ります。

部品	意味
ひな形：[標準] [vi・less 風]	割り当てをまとめて入れ替える（下の表）
一覧	操作・今のキー・既定のキー（[標準] の割り当て）・[戻す]（その操作を既定に）・[消す]（キーを外す）
下の欄	一覧で操作を選ぶと、ここで新しいキーを待ちます。押したキーがその操作に付きます
[全部を既定に戻す]	全部の操作を既定に戻す（[標準] を選んだのと同じ）
[書き出す...] ／ [読み込む...]	割り当てを .uwvkeys のファイルに書く／読む。別の機械へ持っていけます（Mac と Windows・Linux の間でも。Ctrl と Cmd は読み替えます）

キーを付ける

1. 一覧で操作を選びます。

2. 付けたいキーを押します。**1つの操作に2つまで**付けられます。2つ付いているときに押すと、2つ目と入れ替わります。Esc でやめます。

3. そのキーがほかの操作に付いていたら、その場で聞きます：「[選んだ操作] に付け替える」（前の操作からは外れます）／「[前の操作] のままにする」。
- 数字は「何行」の前置き（5j で5行下・120g で120行目）に使うので、付けられません。
 - 検索欄・ジャンプ欄など文字を入れる欄にいる間は、文字1つのキー（j k [など）は文字として入ります。Ctrl 付きのキー・F キー・Esc は効きます。

ひな形

- [標準]**：1.8.1 までと同じ割り当て（16章の表）。下の新しい操作も一覧に出ますが、キーは付いていません（自分で付けられます）。
- [vi・less 風]**：[標準] に、次のキーを足したものです（klogg と同じ）。

キー	操作
j / k	1行下／上（数字を前に打つと N 行。5j で5行下）
h / l	左／右へ横に動かす
^ / \$	行の左端／右端へ
g / G	先頭へ（数字を前に打つとその行へ。120g で120行目）／末尾へ
n / N	次のヒット／前のヒット（Mac では Cmd+G ・ Cmd+Shift+G の代わりに付きます）
* / #	選んだ語（ダブルクリックで選ぶ）の次／前を探す
m	ブックマークを付ける・外す（行の範囲を選んでいれば全部）
f	末尾追従のオン・オフ
v	結果一覧の切り替え（[ヒット+ブックマーク] → [ブックマークだけ] → [ヒットだけ]。6章）
+ / -	結果一覧の窓を大きく／小さく
Ctrl+Shift+O	開いているファイルを選ぶ小さな窓（名前の一部を打って絞り、Enter で移る・Esc で閉じる）

表示（フォント・テーマ）

キー 表示

テーマ

☒ OS に合わせる ☐ ライト ☐ ダーク

「OS に合わせる」は、OS の明るい・暗いの切り替えにその場でついていきます。

本文のフォント

既定（Cascadia Mono・Menlo・Consolas...）

▼

 大きさ

14

▲

▼

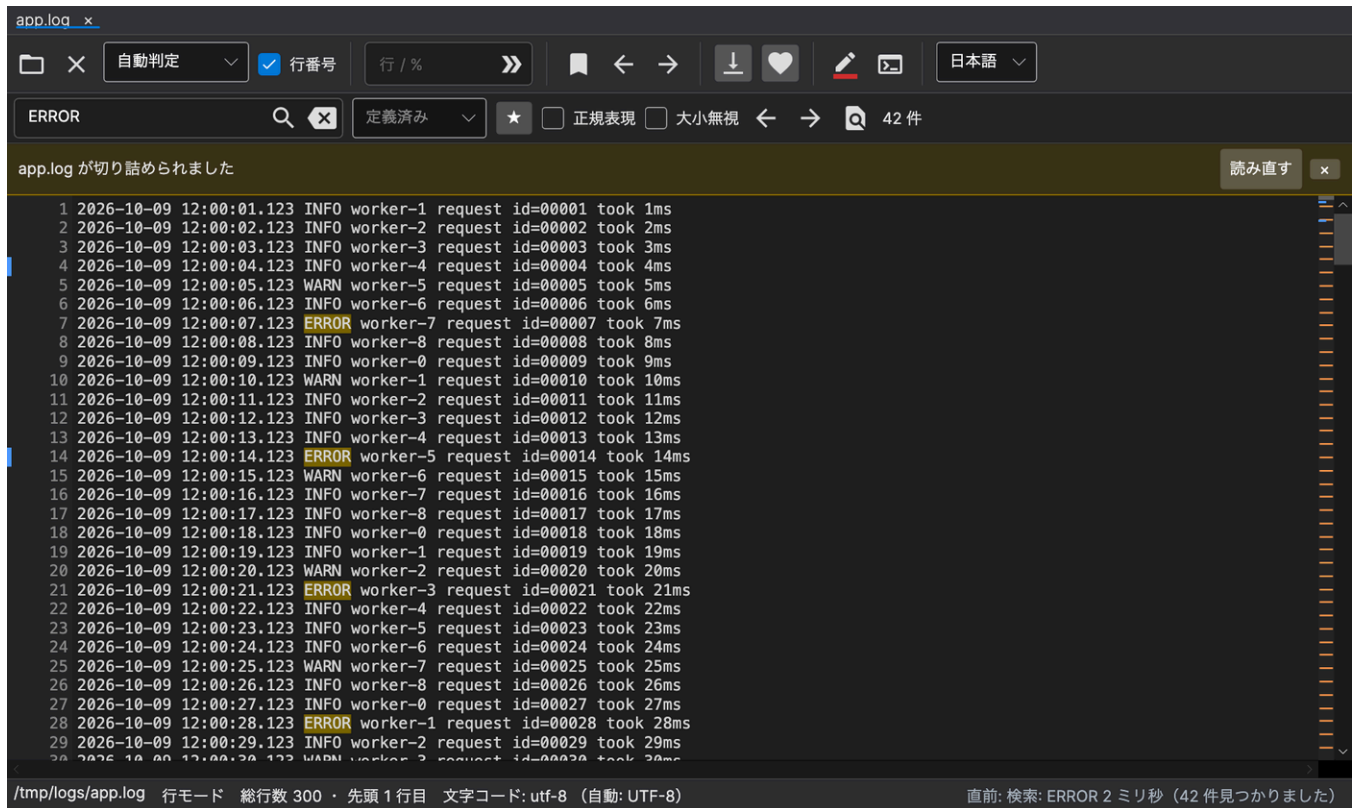
```
2026-10-09 12:34:56.789 ERROR [worker-17] 例外が発生しました id=42 path=/api/v1/items
```

本文や結果の一覧の上で Ctrl（Mac は ⌘）+ホイール、Ctrl++ / Ctrl+- でも変えられます。Ctrl+0 で既定の大きさに戻ります。

フォントを既定に戻す

部品	意味
テーマ：[OS に合わせる] [ライト] [ダーク]	既定は [OS に合わせる]。OS の明るい・暗いの切り替えに、その場でついていきます
本文のフォント	等幅のフォントが上に並びます。「既定」は Cascadia Mono・Menlo・Consolas など
大きさ	6～48。結果一覧は本文より2小さく出ます。行の高さはフォントに合わせて変わります
[フォントを既定に戻す]	フォントと大きさを既定に戻す

- 本文や結果一覧の上で **Ctrl（Cmd）+ホイール**、**Ctrl++ / Ctrl+-**でも大きさを変えられます。**Ctrl+0** で既定の大きさに戻ります。本文と結果一覧が一緒に変わります。
- ダークでは、窓・本文・結果一覧・ミニマップ（ヒットの橙・ブックマークの青・今の位置の帯）・ツールバーのアイコン・ダイアログ・帯が暗い色になります。ハイライタの色は10章。



設定の保存

次のものは自動で覚えます（<ユーザーのアプリデータ>/UwView/settings.json）。

言語・ハイライタのセット・検索履歴（50件）・定義済みフィルタ・前回のファイルと位置・最近使ったファイル（15件）・お気に入り・ファイル一覧の開く先・「コマンドライン」の基準フォルダーと履歴（50組）・結果一覧の切り替え・キーの割り当て（[標準] と違うものだけ）・テーマ・フォントと大きさ

18. 制限と注意

- 1行の表示は8,192文字まで。
- 改行はLFとCRLF。CRだけの改行には完全には対応していません。UTF-16は行の区切りが厳密ではありません。
- Shift-JISの文字列検索で、まれに文字の境目をまたいだヒットが出ます（正規表現なら出ません）。
- zipは開けません。画面の検索欄は1ファイルずつです（複数ファイルは「コマンドライン」〈8章〉かuvfから）。
- 外で変わったファイルを読み直すと、検索の結果は自動では更新しません（検索し直してください。11章）。

19. ブラウザ版の違い

- 最初に案内が出ます（目安3GB・1億行まで、索引を作っている間はスクロールバーが使えない、など）。OKで閉じます。案内の「デスクトップ版を入手」（下矢印）・「UwView Proを見る」（別の画面で開く）はアイコンです。
- メニューとバージョン情報はありません。結果一覧・ハイライタは画面の上に重ねて出ます。

- 使えないもの：パスを指定して開く、末尾追従、お気に入り、前回の復元、圧縮ファイルの確認、複数ファイルの結果とファイル一覧、ドラッグ&ドロップ、「コマンドライン」(8章)、設定の画面 (17章)。
- テーマは OS に合わせるだけです (ダークの OS ではダークになります)。
- 設定は保存されません。